

2022.11.1

【令和4年度 家庭教育学級 給食試食会のご報告】

桜町小学校PTA研修委員会

令和4年10月25日(火)多目的室にて、桜町小学校栄養士の小林佳江先生を講師としてお招きし、本年度家庭教育学級 給食試食会を実施しました。

○会次第

1. 開会の言葉：研修委員会副委員長
2. 研修委員長挨拶
3. 副校長挨拶
4. 講演：桜町小学校栄養士 小林先生
5. 質疑応答
6. 配膳・試食
7. 総括：世田谷区教育委員会生涯学習・地域学校連携課 社会教育指導員 飯島様

○参加者について

- ・応募総数 42 名
- ・参加者人数 30 名（社会教育指導員、研修委員含む）
1年生保護者 10名、2年生保護者 10名、3年生保護者 3名、4～6年保護者 6名

○当日の様子

副校長先生の挨拶では、当日のメニューであるジャンボ餃子がとても大人気だとお聞きし、参加者の皆さんの試食への期待が高まりました。

小林先生の給食にまつわる講演では、毎月の半分は農家から直接米を購入していることや、桜町小では代々伝わる製造者から味噌を変わらず仕入れているなど、こだわりを伺うと参加者から感嘆の声が上がりました。また、食中毒予防のために調理員の方々は作業ごとに担当が分かれていて、中心温度のチェック、手洗いなど衛生管理を徹底していること、子どもたちが楽しくなるようなメニューを献立に取り入れているといった興味深いお話もしていただきました。

小林先生が撮影してくださった動画では、普段目にする事のない給食室内の作業の様子や1年生の給食準備、食べている時の教室の子どもたちの様子を伺うことができました。

教職員を含め1030食という世田谷区内でもマンモス校にあたり、今後も児童数の増加が見込まれるため、来年度給食室の拡充工事が実施されることにも触れておられました。

講演後の質疑応答では、「子どもに給食みたいな料理を作ってほしいとせがまれるが、サラダはどのようにすると給食のようになるか」など具体的な質問にも、「すりおろしたりんごやたまねぎを電子レンジで温めてからドレッシングに混ぜるとよい」と丁寧に教えてくださいました。毎日お子さんと献立表を見て親子で給食を楽しみにしているなど、桜町小の給食が家族で愛されていることを参加者で共有することができました。

配膳は、一部の参加者に給食係体験としてお願いし、皆さんで協力して行いました。試食では初めて黙食を体験した参加者も多かったようです。放送委員によるお昼の放送も流れて、栄養価が高く美味しい給食をじっくりと味わっている様子でした。

○参加者のご意見（一部抜粋）

- ・小林先生が「給食中はほっとできる時間、リラックスできる時間にしてほしい」と仰っていて、そのようなあたたかい気持ちで作っていただき、感動しました。
- ・普段、知ることのできない情報や子どもたちが実際に食べているメニューまで食べられ、とても貴重な体験をさせていただき感謝いたします。なかなか家庭では実践することが難しい手の込んだ調理をしてもらい、毎月飽きのこない献立を考えていただきありがとうございます。
- ・普段、子どもが食べているものについて理解と安心することができたと同時に、大人もなつかしい給食の楽しさを思い出せるすてきなイベントだと思いました。大変な準備ありがとうございました。想定外でしたが、給食を黙食する淋しさも体験することになりました。早く子どもたちにワイワイ楽しい給食時間が戻ってくると良いなと思いました。

○追記

- ・参加費を PayPay での事前支払いに限定したことで、混み合うことなくスムーズに受付を行うことができました。
- ・試食会の後、机・椅子の消毒や片付けにも参加者の皆さまが積極的に協力してくださり、予定より短時間で終了することができました。
- ・家庭教育学級企画時に児童は必ずパーテーションを立てて給食を食べていたことから、パーテーション体験コーナーを設けました。児童が黙食に慣れてきたことから、11月よりパーテーションを立てずに食べられるようになっています。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。